

当社の紹介

① 営業品目

工作機械，産業機械，半導体関連などの
部品加工と製品組立を受託生産

② 得意分野

**大型部品(最大50トン)の機械加工と
三次元測定を行い完品を製作**

③ 調達品目

外注加工－切削加工，研磨加工，三次元測定

(鋼材手配 → 製缶 → 焼鈍 → 機械加工 → 三次元測定 → 納品可)

④ 加工可能な材質

FC, FCD, SS, SUS, ALなど

⑤ 主要取引先

三菱重工業，IHI，芝浦機械，日立造船，
東京精密，コマツNTC，アイダEGなど

⑥ ISO9001：2006年～ 取得

⑦ 製造実績

【工作機械関連】

クロスレール，コラムなどの高精度部品

【産業機械関連】

プレス機の40トン級大型部品

【半導体関連】

半導体製造装置の一貫生産

【防衛関連】

特車，潜水艦，巡視船などの重要部品

⑧ 技能士

特級技能士15人 / 一級技能士44人
(機械組立，MC，円筒研磨，機械検査など)

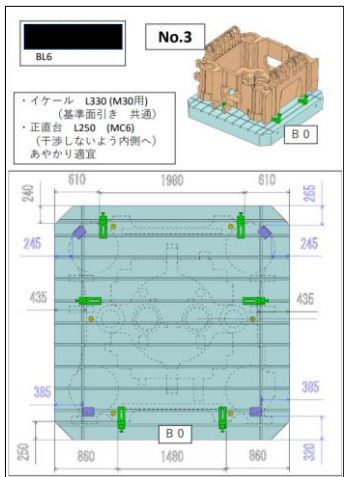
⑨ 今後の展開

2024年 第5恒温工場(1,750㎡)建設に伴い
生産設備を新設し生産量の増加を見込む





カッターパス作成と
シュミレーション実施



自主検査記録用紙

品名	図面番	検査項目	検査結果	検査者	検査日
①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
⑪	⑪	⑪	⑪	⑪	⑪
⑫	⑫	⑫	⑫	⑫	⑫
⑬	⑬	⑬	⑬	⑬	⑬
⑭	⑭	⑭	⑭	⑭	⑭
⑮	⑮	⑮	⑮	⑮	⑮
⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯
⑰	⑰	⑰	⑰	⑰	⑰
⑱	⑱	⑱	⑱	⑱	⑱
⑲	⑲	⑲	⑲	⑲	⑲
⑳	⑳	⑳	⑳	⑳	⑳
㉑	㉑	㉑	㉑	㉑	㉑
㉒	㉒	㉒	㉒	㉒	㉒

検査記録表作成

50トンクレーン、恒温工場、加工機合計51台



主軸φ180×長2600mm NC横型機
(耐荷重60トン・任意割出テーブル、
エクステ+ロングストロークで深穴加工可)



五面加工機×12台保有
(加工機を多数保有しているの
で多種多様な加工依頼に対応可)



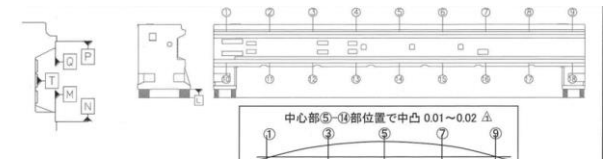
重電部品のターニング加工
(φ4000×H2800mmまで加工可)



クラウニング研磨機
(部品の自重たわみを補正可)

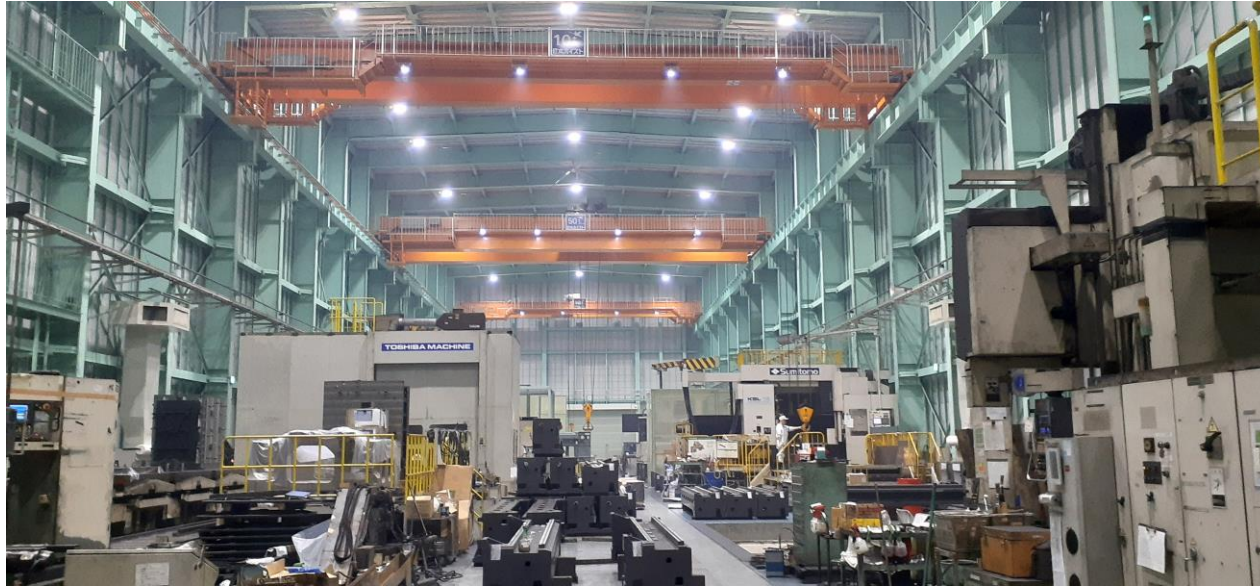


Max 測幅3×長5×高1.5m×質量50トン



測定箇所	許容値 (mm)	測定値	単位: μm	最大値
Q-M面平面度 (測定ヒッチ80mm)	±0.025		13	13
T面平行度 (Q-M基準)	0.01		2	2
Q-M面傾れ (定盤基準)	0.01		9	9
N面真直度 (測定ヒッチ80mm)	0.01		8	8
P面平行度 (N基準)	0.01		5	5

測定結果をグラフ化して、真直を見える化



- ① 恒温工場（24時間空調）
- ② 幅24×長95×高20m
- ③ クレーン（揚程13m）
50トン×1 / 10トン×2基



40トン部品（FCD500）の
機械加工

日刊工業新聞 2024年1月5日 (金)

【従来】

工作機械関連をメインに一貫生産

【今後の方針】

設備や技術を活かして
産業機械や半導体関連に進出

- ⇒ 特に50トン級大型重量部品の
高精度加工・検査を目的として
第3工場 (2022年完成)
第5工場建設 (2024年7月完成予定)

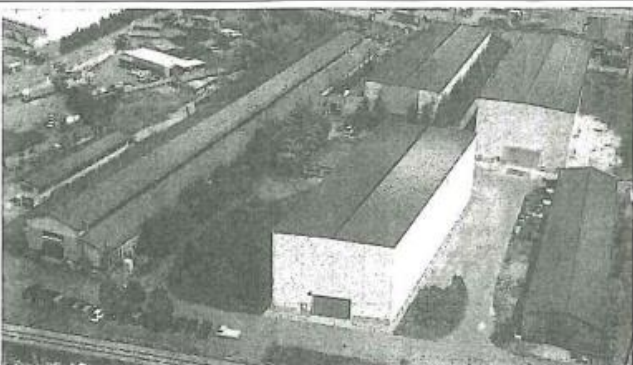
大型重量品を高精度加工

磯部ハイテック 新工場今夏稼働

【新潟】磯部ハイテック（新潟県新発田市、戸松尚社長）は、大型重量部品・製品を高精度加工する第5恒温工場を建設する。2024年夏に稼働予定。本社工場敷地内に1700平方メートルの建屋を建設し、2台の大型5面加工機を新規導入する。半導体関連機械の大型化や短納期化、生産の国内回帰に対応する。総投資額は建設費と設備費で10億円の見通し。23年3月期売上高18億円を28年3月期に同30億円まで伸ばす。

半導体機械向け短納期

資材置き場などに使用。既存のベッド研磨ついでに遊休地に建設。機1台、ジグボーラー1台、マシンングセン1台、マシンングセン1台、完成は6月を予定。



ター(MC)2台を置くほか、天井クレーンなど大型金属材料を

敷地内の前方中央に建てる第5恒温工場の完成予想図は揚程14メートルの吊り上げ荷重50トンと40トンをそれぞれ整備する。新工場が本格稼働すれば、現状で5〜8カ月の納期が3〜4カ月に短縮できる見込み。

5面加工(マイクロは100万分の1)以下の精度で削るのが得意。過去には重さ50トンの材料を加工した。また金属面の摩擦抵抗を減らすきざげ仕上げ、製品の組み立て、運転調整も手がける。従業員約100人のうち15人が特級技能士だ。生産能力の増強で半導体関連機械のほか、射出成形機、ダイカスト機械、高速プレス機械、工作機械などの分野の受注増も狙う。

五箇野紘一会長は「特に半導体は生産の国内回帰の傾向が強くなっている。一方で国内は技術者不足。簡単に機械の稼働が止まらぬよう、組み立てまでに高い精度が求められる」という。